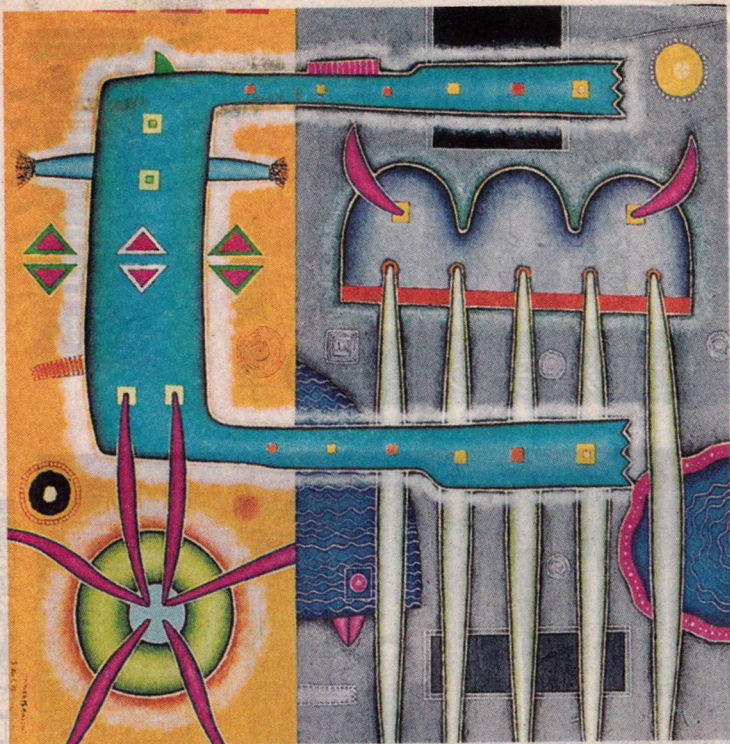


(1)

総 合

1版

1948年7月10日 第3



ホップ・ステップ・ダンス

幸地 学の世界

☆ 5

は見る者の思考回路を広い海へと誘う。そして、まだ見ぬ未来の「共存」のとしてとらえ返した。「共生」の社会を想起させる。現代のテクノロジーが生んだデジタル社会と、プレモダンに横たわる近代においてローテクのアナログ社会は非合理的で後退する指向とな地平をリンクすること

独自の世界絵画に結実

最も新しい作品である。見たこともない生物が静かに休息しているようだ。いや、ある何か(？)、のようであるが確定できない。二分された次元の違う空間。不思議な形をしたも

それぞれ個性の強いフォルムで、排除し否定されてきた。しかし、幸地はモダニズムが失速し混迷する現代社会の中で、プリミティブな「多様」「多様」

とも言うべき独自の世界を絵画に結実させた。(画廊沖縄代表・上原誠 勇)

で、時代を予見するかのような、近未来、

バランスを
獲得したシステム

(1998年)

方向性を示しながら絶妙な美しいバランスを保っている。二次元と三次元の間を情報エネルギーが自由に行き交う、その様

沖縄タイムス創刊五十周年特別企画「幸地学展」は、二十五日まで、那覇市民ギャラリー(パレットくもじ六階)で開催されています。

(おわり)